

令和 7 年度 吹田市 在宅医療を担う医師の交流会（案）

1 目的 在宅医療を担う医師同士の交流を通じて、顔の見える関係性ができ、在宅医療を担う医師間の連携体制が構築されることを目指す。また、安定的な在宅医療提供体制の構築を目的として、市域において必要な取組を検討する場とする。

2 開催日 日時： 未定（土） 15 時～16 時

場所： 未定

※ 同日、交流会後に吹田市医師会主催の懇親会あり

3 対象 市内の在宅療養支援診療所 約 70 件、在宅医療に興味がある医師

訪問看護ステーション

（介護保険事業者連絡会訪問看護部会から数事業所の参加を依頼）

4 内容

交流会	
15 : 00	あいさつ、本会の説明
15 : 05	【吹田市からの報告】「在宅医療に役立つ情報」（市職員）
（5 分）	・ 在宅医療推進に関する吹田市の取組 ・ ACP 推進にかかる取組（リーフレット等のツール紹介、ACP プロトコル など） ・ 医療介護資源の情報提供（在宅療養後方支援病院や地域包括ケア病棟の役割や活用方法、ケア倶楽部※の活用方法 など） ※ 吹田市と介護事業者や医療・福祉従事者をつなぐ情報共有連絡サイト
15 : 10	【講義】「知ってますか？ 訪問看護の活用方法」（訪問看護）
（10 分）	・ 訪問看護の基本的な役割、活用方法 ・ 在宅医療を担う医師との連携事例の紹介 など
15 : 20	【情報交換】「みんなで共有しよう！日々の在宅診療での工夫や悩み」
（40 分）	情報交換の進め方 （1） 自己紹介（5 分） 「在宅医療に興味をもったきっかけ」 などをお話しいただく。 ※ 各グループの司会は、事務局であらかじめ指定しておく （2） 情報交換（35 分） 「訪問看護との連携」など を主なテーマに提案しつつ、その他ご自由に交流いただく
16 : 00	閉会

【今後の交流会について】

- 病院や訪問看護も参加いただく回も設定し、それぞれの役割や連携に関するPRを行う。また、在宅医療を担う医師との交流を通じて、新たな連携を目指す。
- ACP（人生会議）をテーマとしたグループワークの実施。
- 在宅医療を担う医師同士の連携体制のあり方に関する課題を話し合い、連携体制構築につながる具体策が見いだせるような話し合いを目指す。